

ハンノキ通信

— 初夏の号 —
 発行・お問い合わせ先：
 あらかわ市民環境サポーター事務局
 (国土交通省 荒川上流河川事務所
 河川環境課内)
 TEL: 049-220-0145

三ツ又沼ビオトープのあれこれ

今年もノウルシが
さきました!



今年も、荒川の春の代表的な花のひとつ、『ノウルシ』があわい黄色のきれいな花をさかせました。4月半ば～終わりまでが見ごろです。まだ見ていない方は、来年はぜひ!



市民が参加して
野草の調査を行いました!

荒川の自然が大好きな人たちからなる環境サポーターのみなさんが集まり、野草の調査を行いました。全国的に数をとてもへらしている野草が、ここでは去年より増えていました。ひと安心です。

荒川ハンノキプロジェクト



環境サポーターによる
出前講座を行いました!
(太平中学校)

このプロジェクトに参加する科学部の生徒さんと、ミドリシジミの幼虫はハンノキという木の葉を食べること、ハンノキがないと生きていけないことについてたしかめ合いました。

埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島子どもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。



元気に育っています!
(出丸小学校)

5、6年生が中心となって育てているハンノキの苗。12月に三ツ又沼ビオトープに植えもどしに行きます。



ミドリシジミが見ごろです

今年も、三ツ又沼ビオトープ内でミドリシジミが飛び始めました。以下のことに気をつけて、三ツ又沼ビオトープに出かけてみましょう。



- ・期間: 7月の終わりころまで
- ・時間: 夕方
- ・見つけ方: ハンノキの木の上を見上げましょう。2ひきの小さいチョウがたがいを追いかけてくるくる回っている姿が見つかるはず。それがミドリシジミのオスです。
- ・その他: ミドリシジミの幼虫は、食べものであるハンノキがないと生きられません。きれいなチョウだからといって、持ち帰らないようにお願いします。



三ツ又沼ビオトープとは?

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省と一緒に、自然をより良くする作業や荒川の自然って大切だよね! って人々に伝える活動を行っています。三ツ又沼ビオトープでは、いつでも、どなたでも自然に親しむことができます。



※環境サポーター: あらかわ市民環境サポーターの略。荒川の自然が大好きで、特に三ツ又沼ビオトープの自然をより良くするために作業をしたり、自然学習のお手伝いをする市民のみなさんです。登録は荒川上流河川事務所にて行っています。